

特集 友だちとの「おうち遊びのルール」

季節や天候の影響で外遊びができないとき、または下の子がいる場合など、お友だちと家の中で遊ぶ機会があると思います。自由にのびのびと遊んで欲しいと思う反面、これだけは守ってもらいたいという家庭もあるのでは？おうち遊びのルールについて聞いてみました。（読者モニターアンケート回答参照）

わが家の

おうち遊びのルール



マナー編

寝室には入らないでほしい。

理由：見られたくないから。

対策：「そっちの部屋は開けないでね」とその場で言うようお願いするようにしています。

何時まで遊ぶか、帰る時間を決める。

理由：「もっと遊びたい！」と、なかなか帰らない娘のお友だち。結局、夜遅くなってしまいました。迎えに来た親の迷惑そうな顔が忘れられません。

対策：自分の子に言い聞かせました。必要であれば担任の先生に話してみるのもありかも。

帰るときは遊んだものを片づけていってね。

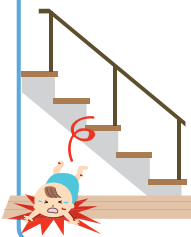
理由：自分の子どもにも同じように声かけをしているので。

対策：「いっしょに片づけしようね！」と、自分の子もお友だちもみんなで片づけができるように声をかけています。

ケガ予防編

階段は上らないように。

理由：滑って危険！大人でも急いでいるときなど危なくてヒヤッとすることがあるから。



対策：来客時には必ず通る場所なので、直接「お願い」と「約束」をしてもらうように伝えます。

キッチンや大型家電には近づかないで。

理由：ケガなど何かあってからでは遅いので。わが子にも近づかないように言っています。

対策：その状況になりそうなときに、どうしてダメなのかを具体的に話します。（遊びに来るママ友は常に意識して注意してくれています！）

びっくリエピソード

- 勝手に仏壇のお供え物のお菓子を食べられてしまいました！ひとこと言ってほしかったな。
- 知らないうちに2階に上がっていて、部屋中ちらかし放題にされました。
- 遊びに来ると、ずーっとスマホで動画を見ている子がいます。気にかけてはいますが、今の子は仕方ないのかな…。



編集委員のエピソード

わが家に遊びに来たママ友と3歳のAちゃん。みんなで楽しく遊んでいると突然、Aちゃんがキッチンに入り冷蔵庫を開けました。驚いたママ友が「勝手に開けちゃダメだよ！」と注意しましたが、Aちゃんは「冷蔵庫にアイスあるでしょ。食べようよ。」と再び開けようとして。よその家の冷蔵庫を勝手に開けてはいけないことが理解できない様子でした。あやまるママ友…「こんなとき、小さい子には何て言えば伝わるのかな？」とお互いに困ってしまいました。



わが家とよその「ルールの違い」…子どもに伝えられますか？

みんなの声

娘が勝手によその家のお家の冷蔵庫を開けてしまったことがありました。帰宅後、「〇〇ちゃん(娘の名前)のアイスが入っているのはこの冷蔵庫、よそのおうちの冷蔵庫は開けちゃダメだよ」と伝えましたが…わかっていない様子でした。

子どものすることですし、まだ理解できない年齢だと思うので、何も言いません。

「ここはAちゃんのお家じゃないから、お家に帰ってから食べてね！」と、自分のお家とよそのお家が違うことをやんわりと伝えます。

家庭には家庭の数だけルールがあります。自分のルールがみんなのルールではないこと、世の中には自分と考え方が違う人がたくさんいることを、少しずつ子どもに伝えていけるといいですね。

子どもの友だちトラブル

親はどう関わればいいの？



肝心なことを決めていない、あいまいな約束…

子ども同士の約束

知らないお友だちとの約束…



年中の息子。園から帰宅後、「今日〇〇さんと公園で遊ぶ約束したんだよ！」と言ってきました。「どこで？何時に約束したの？」と聞くと、「着替えておやつを食べてから♪」と、具体的な場所と時間はあやふや…。連絡先がわからないので、とりあえず近所の公園に行ってみましたが、結局お友だちは来ませんでした。

子ども同士のあいまいな約束、どうしてる？（あのね読者モニターより）



子どもに「次はこの公園で遊ぶか聞いてみようね！そうしたらお友だちと会えるかもしれないからね。」と伝えます。

約束してきたと言っているのであれば、いっしょに公園に行きます。同じようなことがよくありましたが、本人の気持ちに寄り添いました。

園の先生に聞いてみます。

「約束してきても、毎回会えなくてがっかりしています。どんな話をしているかわかりますか？」とか。相手の親に、それとなく聞いてもらうのもいいかも。

何かあったら困るので、相手の親と連絡が取れない場合は遊べないと決めています。「友だちと遊びたい！」という子どもの気持ちも尊重したいので、同じクラスの保護者とは積極的に連絡先を交換するようにしています。

子ども同士で約束をするときに気をつけていることは？

●自分の子どもの気持ち優先になりすぎていないか？迷惑になっていないか？など、相手の子や、その子の親のことも気にかけるようにしています。

●細かい決めごとができない年齢なので、親同士が連絡を取り合えるかを重視。誰と遊ぶかを聞き出し、連絡がついたら状況を判断して決めます。

●子どもの都合だけではなく、親の都合で遊べなくなることも理解してもらえるよう、くり返し伝えていきます。

自分の子や相手の子への対応はどうする？

子どもの遊び中のトラブル

親はどこまで介入する？



すべり台の順番待ちで…

順番を待たず、前の子を越してしまいました。

順番を守ろう！という内容を、子ども向け番組の歌を歌って、さりげなく教えています。

おもちゃの取り合い

支援センターで、居あわせた子と遊んでいるときに、おもちゃの取り合いになりました。

親が口出しをしてしまうと、子どもは納得できずモヤモヤが残ってしまうので、「どうしたかったのか」「どうしたいのか」など、話をきいて納得させています。



ぶつかりやケガ

輪になって楽しそうに走り回っている年上のお友だちと、仲間に入ろうと近づいた2歳の娘がぶつかってしまいました。

はしゃいでいるときは周りが見えていないことが多いので、小さい子は近づかないよう、大きい子は気をつけるよう、双方の親の配慮が必要だと感じました。ケガをしたら後味も悪いですし…。



青森県発達障害者支援センター「Doors」センター長 公認心理師 分枝 篤史さんにお聞きしました。

ルールや決まりを教えよう

就学前や小学校1年生頃の子どもの、「日時の調整」がむずかしく、5W1Hを意識した具体的な約束ができないものです。親同士のコンタクトがとれない場合もありますので、「遊ぶのは園(学校)だけね。」というように、親が遊ぶ場所を決めてあげるのもひとつの方法です。

約束を守る・守らないに注目せず、家や園・学校などの、「日々のルールや決まり」を教えながら、子どもに理解させていくことから始めてみましょう。

子どもの見えている世界をいっしょに見てあげよう

9歳ぐらいまでは自己中心の気持ちが強いので、子ども同士のトラブルは起きるものです。トラブルを起こさないようにするよりも、起こってしまったときにどうするかが重要。ポイントは「状況の整理」をしてあげることです。

状況の整理

子どもから状況を聞き出して、「こういうことだったんだね。」と、トラブルになった背景を整理してあげます。子どもの見えている世界をいっしょに見てあげることで、子どもの感情の整理にもつながります。

また、悪いことをしたのではなく「本人なりに考えて行動した結果、悪いことになってしまった」のですから、ママ・パパは探偵になって状況を整理してあげてください。「どうしてそうしたの？」というより、「こうしてみようか！」と、白黒をはっきりさせるのではなく、伝え方ややり方を教えることが大切です。

親も肩の力を抜いてみよう

「子どもは子どもなんだよ」ということを大人は忘れていませんか？子どもは、未経験でできないことがたくさんある1人の人間なのです。「生きていてくれるだけで十分」と、ありのままを受け入れ、いろいろな期待をかけずに子どもがやりたいことをたくさん叶えてあげてください。

親といっしょに楽しんで生活していれば、子どもは自然と自分らしく育っていくものです。親は子どもにとって「安心・安全基地」であってほしいですし、子どものことをよく知り、理解してあげる「伴走者」になってほしいです。(談) (取材：見世)

